

中央材料部

■ スタッフ

部長 池田 智明
副部長 長谷川 正裕
助教 内田 克典
師長 奥 成子
技術職員 常勤 1名
 (第一種滅菌技師・特別化学物質など作業主任者)
技能補佐員 非常勤 7名
 (第一種滅菌技師1名・第2種滅菌技師2名)

■ 部門の特色

1. 特色

中央材料部では、医療材料の洗浄・滅菌・消毒・各部門への提供と物流の適正管理（購入を含む）及び医療材料の選定を行っております。

■ 活動体制

1. 医療材料の洗浄・滅菌・消毒・各部門への提供

各部門、診療科に洗浄・滅菌・消毒を行った医療材料を、滞りなく提供しています。

2. 物流の適正管理

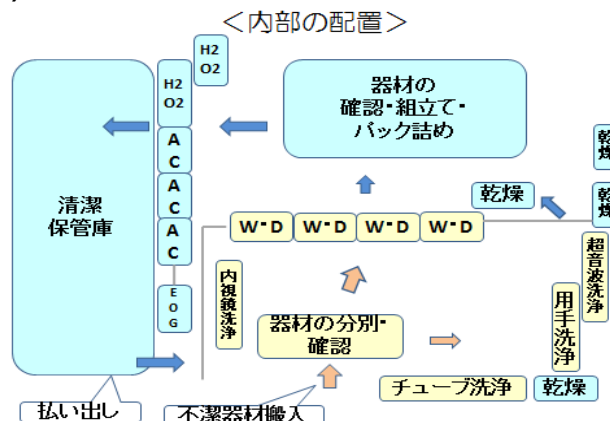
院内SPD(Supply Processing & Distribution)方式を採用し、使用される物品の購買・保管・供給を行っています。物品ラベルによる定数管理は、各診療科が消費する物品のうち、消費頻度が高いものに各々定数を設定し、定数に合わせた供給を行っています。また、定期的に消費サイクルの確認を行い、定数の見直しを行うことで過剰在庫、期限切れ等の無駄を抑える努力を行っています。

3. 医療材料委員会

各診療科から申請のあった新規医療材料の採用審査は、奇数月に開催される医療材料委員会において行っています。当委員会では、診療行為における安全性・有効性・効率化はもとより、1増1減の原則（※在庫品の廃棄ロス防止）や購入価格のチェックを行い病院運営の健全化を図ることを目的としています。また、併せて医療材料の適正な使用・管理に関するルール整備等も行っています。

■ 活動内容

1) ゾーニングの実践



2) 使用器機

ベリメド社製
 ウォッシャーディスインフェクター 4台
 アスカメディカル社製チューブ洗浄機(ASK-6500ST) 2台
 チューブ乾燥機 1台



WD



チューブ洗浄機と乾燥機

サクラ精機社製 高圧蒸気滅菌器 3台
 サクラ精機社製ガス滅菌器 1台

E O G滅菌器とエアレーション



ジョソツ&ジョソツ社製の過酸化水素滅菌器(ステラッド NX 1台／*ステラッド 100NX 1台)

*2018年11月まで無償貸借

NITI-ON社製超音波洗浄機(VS-SONIC) 1台

3) 各部署の作業風景

ソイルドルーム



セットパックルーム



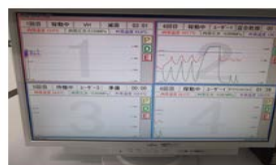
クリーンルーム



その他のシステム

手術器材は、サクラシステムプランニングの滅菌物品管理システムを活用し、手術器材の回収時の患者 ID ひも付け、回収データ確定、刻印セット組入力・ラベル発行・滅菌入力(ハンディターミナルを使用し、カート NO・積載入力・滅菌開始・終了入力)を行っています。回収から滅菌までのデータによる物品管理ができます

サクラサプライマネジメントシステムの活用



病棟・外来の滅菌器材については、H28.12.23 システム変更に伴い、手術部器材と同じサクラシステムプランニングの滅菌物品管理システムを導入しています。以前のシステムと同様にラベルによる在庫管理、期限管理に加え、システムを活用して、回収履歴・滅菌履歴・滅菌判定履歴・各滅菌装置の稼働回数や作業量の把握ができ、リコール対策に即座に対応できます。

H28 年度実績

材料委員会 6 回
 新規材料申請 79 件
 医療材料費削減実績 約▲100,000,000 円

滅菌稼働実績	ステラット [®] 200	491 回
AC 2877 回	ステラット [®] 100NX	415 回
EOG258 回	ステラット [®] 50NX	627 回
滅菌器材数	135,040 件	
払い出し内訳		
手術部門	42,882 件 (借り物器材を除く)	
	コンテナ 34,425 件	
	単包 8,457 件	
外来部門	42,002 件	
中央部門	12,440 件	
病棟部門	37,716 件	
合計	135,040 件	

今後の課題

医療材料はコストの中で医薬品に次いで医療費に占める割合が高く、新しい診療材料の採用にあたっては、安全性の担保および手技の効率化はもとより、経済的メリットも重要な判断基準となっており、材料委員会ではデバイスごとに審議を行なっています。

また、医療の安全と質を担保するにおいては、その基本ともいえる洗浄・滅菌作業と点検を確実に実施し、必要な時に安心・安全なデバイスの提供に取り組むとともに、製品識別とトレーサビリティの向上へも努めてまいります。

H29 年度 材料費削減目標 ▲45,000,000 円

過酸化水素滅菌器の選定準備

手術件数増加に伴い休日勤務の検討